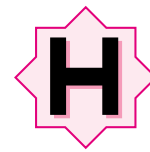




Vol.6

2011年2月発行

平鹿総合病院の理念



- 「より高度な臨床」
- 「より深い研究」
- 「より広い教育」
- 「より積極的な保健活動」

の四つの柱を職員が共有し、
地域の人々の生命と健康を守ります。



当院エントランスホール

左より『吹雪の朝市』・『百姓老人』
農民彫刻家 皆川 嘉左エ門氏 作

CONTENTS

- 院長あいさつ……………②
- 病院祭……………②
- 職場紹介……………③
 - ・心臓リハビリテーション
- 防災訓練……………③
- 外来受付時間のご案内…………④
- お知らせ……………④

当院は、日本医療機能評価機構
Ver5.0の認定施設です。また、当
院の健診センターは、日本人間ド
ック学会の機能評価認定施設です。



病院住所／〒013-8610 横手市前郷字八ツ口3番1
TEL／0182-32-5121 (代) FAX／0182-33-3200
● HP : <http://www.hiraka-hp.yokote.akita.jp/>

院 長 挨拶



院長 平山 克

新年明けましておめでとうございます。皆様それぞれに、ご家族と一緒に楽しい良い正月を過ごして頂いたものと拝察致します。

横手も、年越しから三が日は好天に恵まれて穏やかな新年だったのですが、その後は予想もなかった記録的な豪雪に遭遇しております。市民の皆様も、屋根の雪下ろしや自宅周囲の除雪などに大変に苦勞されているものと思います。当院でも、朝の7時30分とか8時に開始する会議では除雪作業などのため間に合わず遅刻となってしまう職員が少なくなく、会議開始時間の調整等で対処している現状です。しかし、近年の暖冬傾向の中で、二階の軒下に迫る庭の積雪をみて昭和40～50年頃の横手の冬模様を懐古している自分もおります。

雪による事故で当院に搬送される患者さんも急増しておりますので、くれぐれも怪我のないようにお気をつけ下さい。冬が厳しければ、その分春は待ち遠しく、また一段と明るい春を迎えることが出来ます。

昨年は、当院においてもいろいろな出来事がありました。特に、昨今の医療情勢はご存じのように極めて厳しい状況にあり、医師不足や医師の地域偏在という難題が当院に対しても突きつけられている所です。しかしながら、市民の皆様の多大なご理解とご協力のおかげをもちまして、「質の高い地域医療の提供」という当院の使命を遂行出来たと感謝しております。本誌第4号にも記載しましたように「人間ドック健診施設機能評価」の受審も無事に認定証を取得しております。他方、長年にわたって当院の院長/総長を勤めてこられた林雅人先生が11月30日に逝去されるという悲しい事柄もありました。林雅人先生の葬儀に際しましては、多数の市民の皆様にご会葬を頂きましたことを心より感謝申し上げます。

今年は、10月に電子カルテを導入するという新規の課題がありますけれども、職員一同が力を合わせて昨年度までと同様に地域中核病院としての責務を果たすべく努力を継続してまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。



病 院 祭 10月23日(土)

前年度に新型インフルエンザが流行したため中止された病院祭が今年度ははぎやかに開催されました。



◀ J A 青年部の藤原さんによるバルーンアート。子供さんに大人気でした



◀ 農協乳業より300本の牛乳プレゼント



▲院長もちつき中

▶ 横手焼そば暖簾会員により指南中



▶ わたあめ、風船が大人気



▲金沢保育園児による太鼓演奏



▲介護コーナー実演

職場紹介

心臓リハビリテーション

循環器科長兼リハビリテーション科長 伏見 悦子

心臓リハビリテーションとは、心筋梗塞や心不全、心臓手術後や閉塞性動脈硬化症などの患者さんに、身体的にも精神的にも元気になってもらうために行うもので、再発を予防し、よりQOL（生活の質）の高い退院後生活をもたらすものです。具体的にはその患者さんの病状にあわせて、ベッド上の安静状態から徐々に、座り、立ち、歩き、エルゴメーター（自転車こぎ）やトレッドミル（ルームランナー似）での運動トレーニングを行います。また身体的な健康を取り戻すのみならず、生活習慣の改善、精神的なフォローも行い、心身ともにQOL高い生活を目指しています。

その業務はリハビリテーション科の一環として行われています。スタッフはリハビリテーション科から佐藤健一理学療法士、看護部から鍛冶優子主任、循環器科からは國生泰範医師、新保麻衣医師と私の主に5人で従っており、もちろん主治医や病棟看護師、薬剤科、臨床検査科、栄養科、時にはケースワーカーさんなどたくさんの部門のスタッフの協力のもと行われています。



▲心臓リハビリスタッフ



▲エルゴメーター



▲トレッドミル



▲ミーティング

リハビリテーションを施行する場所は、急性期はCCUやICUのベッドサイド、それから病棟の廊下や階段、そして運動器具のある検診センターの一角をお借りして施行しております。入院中のみならず、必要に応じて外来通院で心臓リハビリテーションを継続していらっしゃる方もおられます。

この心臓リハビリテーションは、患者さんのそばにぴったり寄り添う感じで行われますので、患者さんの悩みや生活状況などの問題に真っ正面から向き合うことになり、その苦勞の反面、とてもやりがいのある仕事です。私も今まで知らなかった心疾患患者さんの真の姿に驚いたり感じ入ったり、自分の未熟さを思い知ったりします。でも患者さんが日々元気になっていく姿にスタッフは励まされ、そしてその喜びを分かち合うことができ、それが原動力になります。

この心臓リハビリテーションは開設されてまだ2年です。これからは病院内にとどまらず、院外でも心疾患の一次予防、二次予防のために活動できるよう頑張っていきたいとおもっております。

防災訓練 12月14日(火)

災害に備えて訓練中



▲安全・迅速な救急活動のために。



▲ねらいを定めて消火活動開始。見ている人も真剣です。



ブロック	診療科	受付曜日	受付時間	特 殊 外 来
1 階 Aブロック	第一内科	月～金	午前11時まで	◎肝臓外来(毎週火曜日) ◎炎症性腸疾患外来(水・金曜日)◎糖尿病外来(火・木曜日)
	外 科	月～金	午前11時まで	◎小児外科(毎週水曜日午前) ◎ストーマ外来(毎週火・木曜日14:00～16:00)※完全予約制
	乳 腺 科	月～金	午前11時まで	※緊急の場合を除き初回受診時は検査のみを行い、医師の診察は完全予約制です。(毎週月・火・金曜日)
	整形外科	月・火・水・金 木	午前11時まで 午前10時まで	
	心療センター	火・水・木	午前11時まで	※新患の方はあらかじめ水曜日又は木曜日に予約をお願い致します。(お電話でも結構です)
1 階 Bブロック	第二内科	月～金	午前11時まで	◎ペースメーカークリニック外来(毎週水曜日13:00～15:00)※要予約 ◎神経内科(毎週水曜日13:00～15:00) ◎腎臓外来(毎週月曜日8:30～11:00)※要予約 ◎禁煙外来(第2・4木曜日16:00～17:00)正面受付で予約
	脳神経外科	月～金	午前11時まで	
	心臓血管外科	木・金	午前11時まで	
2 階 Cブロック	皮膚科	月・水	午前10時30分まで	
	小 児 科	月～金	午前11時まで	◎神経外来(第4水曜日)※完全予約制 ◎内分泌外来(第2・4金曜日)※完全予約制 ◎腎臓外来(第1金曜日)※完全予約制 ◎血液外来(第4金曜日)※完全予約制 ※特殊外来受診希望の場合は必ず小児科外来にご連絡ください。
	産婦人科	月～金	午前11時まで	◎母乳外来(毎週月・木曜日13:30～15:30) ◎母親学級(毎週火曜日13:30～14:30)
	形成外科	月～木 金	午後3時30分まで(診療は午後1時30分から) 午前10時まで(午前に診療します)	◎顎顔面・唇顎口蓋裂外来(第1金曜日) ※金曜日午前診察です。金曜日以外の平日の診療は、午後1時30分からです。
	耳鼻咽喉科	月・水 火・金 木	午前11時まで 午後0時～午後3時まで 午前10時まで	◎午後学童外来(毎週木曜日、受付は午後3時まで) 診療は午後3時からです。 ※火曜日・金曜日の診療は午後1時30分からです。
2 階 Dブロック	眼 科	月 火・水 木 金	午前10時まで・午後は0時～2時30分 予約のみ 午前9時30分まで 午前10時まで	※月曜日の午後の診察は2時からです。
	泌尿器科	月～金	午前11時まで	◎ストーマ外来(毎週火・木曜日10:00～11:30)※完全予約制
	歯 科	月～金	午前11時まで	

※自動再来受付機は午前6時30分から受付開始します。新患受付は午前8時から受付開始します。

平鹿総合病院『さろんアップル』からのお知らせ

「さろんアップル」は、がん患者さんやご家族が集い、交流する場です。現在治療中の方、これから治療する方、すでに治療を終えて経過観察中の方など状態も病気も様々です。



同じ病気の仲間の話聞き、情報交換や親睦をはかっています。がんの患者さんとご家族であれば、どなたでもご利用になれます。

開催予定は毎月第3火曜日 午前10:00～12:00です。

■ <DVD観賞&懇談会を開催>

『がんと向き合って患者と家族が今できること』

2月15日(火) 10:00～12:00

平鹿総合病院(2階) 第2・3会議室

※参加費無料・申込不要

お問合せ：がん医療相談室(内線5905)

医 療 相 談 室(内線2145)

日常生活のなかでできるインフルエンザ対策

インフルエンザに感染すると、1日～3日で発症して、38℃以上の発熱や関節痛などの全身症状が3日間ほど続きます。万全な対策としてインフルエンザの予防接種が奨められますが、以下の日常生活のなかでできる対策を実行しましょう。



- ①手洗いとうがいをを行う
- ②マスクをする
- ③せきやくしゃみをする時は口を覆う
- ④部屋の湿度を保つ
- ⑤なるべく人込みを避ける
- ⑥十分な休養や睡眠、栄養をとる

編集後記

あけましておめでとうございます。平成21年5月に第1号を発行して以来、順調に4ヶ月ごとにお届けすることができ嬉しく思います。当みのは平鹿総合病院を利用して頂いている皆様に病院をより広く深く知ってもらうための広報誌です。編集内容に関するご意見を歓迎しますので、院内の投書箱やメールでお知らせ下さい。(広報委員 木村)